

肺がん

予防と早期発見のために



徳島大学病院
呼吸器・腫瘍内科 講師

後東 久嗣氏

肺がんは日本人のがん死亡原因の一位であり、数あるがんの中でも「たちの悪い」がんです。

このように予後が悪い肺がんですので、その予防が大切です。予防策としては、「一に禁煙、二に検診」です。なるべく早く禁煙することで肺がんになる確率を減らすことができますし、定期的に検診を受けることで早期発見できれば、治療する可能性も上がります。

禁煙は、飲み薬や貼り薬（禁煙補助薬）を用います。二〇〇六年から保険適応となり、治療として約三カ月のプロゲラムに沿って禁煙指導を受けますので、自己流よりも楽に禁煙することができま

す。禁煙したいけれど自信がない、上手くいかない方にお勧めですので、まずは専門施設へご相談ください。



徳島大学病院がん診療連携センター

お問い合わせ がん診療連携センター：Tel.088-633-7312

がん相談支援センター

相談窓口 Tel.088-633-9438

徳島がん対策センター

<http://www.toku-gantaisaku.jp/>